

プレスリリース

コンタクト: press@hevcadvance.com

IP Bridge が HEVC Advance に加入

HEVC Advance が合同会社 IP Bridge 1 のライセンサーとしての加入、及び アジア地域の新規ライセンサーを発表

ボストン – (2018年10月17日) — 独立系ライセンスアドミニストレーターである HEVC Advance は本日、合同会社 IP Bridge 1 (IP Bridge) が HEVC Advance の HEVC/H.265 特許プールにライセンサーとして加入したことを発表した。この加入により、IP Bridge の保有する HEVC/H.265 規格必須特許の全てが、現在全世界で総計 4500 件を超える特許を数える HEVC Advance のライセンスに含まれることになる。

HEVC Advance は更に、このところ成長が続くアジア地域におけるライセンサーリストの拡大にも言及した。新規ライセンサーには、日本及び韓国地域では TOA 株式会社、池上通信機株式会社、アルパイン株式会社、富士フイルム株式会社、Pittasoft Co., Ltd.、中国大陸及び台湾地域では、口袋移動科技股份有限公司、看到科技有限公司、新視代科技股份有限公司、銳明科技有限公司、深圳市同为數碼科技股份有限公司及び亿联网络技术股份有限公司等の企業が含まれている。

「私共の特許ライセンス活動は常に経済的な発展と産業の健全な成長を刺激するものです。また効率性と透明性をもちあわせた本 HEVC/H.265 特許プールは、事業を拡大するうえで規格技術を必要とする産業に大きな利益をもたらしてきております。私共は HEVC Advance と協力し、産業界にとって利益となる本特許プールを推進していくことをとても楽しみにしております。」と株式会社 IP Bridge 取締役副社長兼 CIPO、尾形偉幸氏はコメントする。

また HEVC Advance CEO、ピート・モラー氏は、「IP Bridge が、その価値ある HEVC 規格必須特許ポートフォリオをライセンスするために弊社 HEVC Advance を選択していただきましたことを、我々はたいへん光栄に感じております。今回日本初かつ専門 IP ファンドである同社によって我々のライセンスプログラムの真価にご支持を頂いたことは、HEVC 技術のもたらす利益をすべての消費者にゆきわたらせたいという我々の願いに対し

大きな前進となります。また我々はすべての新規ライセンシーの皆様を歓迎し、我々ポートフォリオの価値及び HEVC Advance のライセンスプログラムによりもたらされる利便性と省コスト性の認識に対し感謝申し上げますと共に、HEVC 技術がもたらす利益をその顧客が享受できることをたいへん喜ばしく思っております。」と述べている。

株式会社 IP Bridge について

IP Bridge は、技術イノベーションと、日本国内及び世界における協力関係の推進に注力する。産業革新機構（26 の企業群と日本政府間のユニークなパートナーシップ）を含む投資家各位の協力により設立された、グローバルイノベーションと IP 関連投資を目的とする日本における最初で最大のファンド（約 300 億円）である。そのミッションは、国内外の様々な知財権者への利益となるべく、その高品質で未活用の知財資産を活用・利用することであり、そのビジョンは、このような活動により経済的な発展と世界産業の健全な成長が刺激されることである。IP Bridge に関する詳細情報は、<http://ipbridge.co.jp/>参照。

HEVC Advance について

HEVC Advance は規格必須特許をライセンスし、HEVC/H.265 パテントプールの発展、運営、管理を推進するために設立された独立系ライセンスアドミニストレータ会社である。HEVC Advance は HEVC 特許技術のための透明かつ効率的なライセンスプログラムを提供する。HEVC Advance に関する詳細情報は、www.hevcadvance.com 参照。